

Field Trip

情報文化学科 2年 小林柚子葉

ESL では授業だけでなく **Field trip** という課外授業がある。行く場所はあらかじめ決められている所もあれば A クラスがグループごとに自分達で行程を決めて発表し、それを B クラス含めた全員で行きたい所を選んで決定した場所に行くこともある。

約 2 時間かけてオマハの動物園に行った時は動物園が久々だったためすごく興奮したのを覚えている。このオマハ動物園は規模がでかく、動物たちを知ってもらうために砂漠のゾーンや熱帯雨林のゾーンなど一つ一つその環境を模して作られていた。中には虫のゾーンもあって世界中の虫を見ることができた。しかし蝶が放し飼いにされているコーナーを通るのには少し抵抗があった。動物園は広すぎる上に決められた時間も短くすべて回るのはできなかったがまた機会があったら行きたいと思える場所だった。

大学があるメリービルは少し歩くと平原が広がっていてそこにある牧場に **Field trip** で行くことがあった。その日は風が強くとっても寒い日だったが豚や羊を見たり子牛をなでたりしているうちにいつの間にか気温のことなど忘れていた。一番盛り上がったのは藁の上に登れたことである。藁をまとめて丸太のようになった上に登って走ったり追いかけてこしたり、藁から藁の上を渡ったりとみんながはしゃいですごくいい思い出になった。

美術館に向かうバスの中では美術の専門用語を、ビンゴを使って勉強しながら行った。この美術館も大規模で絵画や石像、ミイラなど多くの展示品があった。日本のコーナーもあり、浮世絵や鎧なども展示されていた。中国のコーナーでは壁一面に書かれた大仏の絵があり、ところどころ剥げて見にくくなってはいたが神秘的で感動した。私は本格的な美術館に行ったことがなかったため長い間ゆっくりといろいろな芸術作品を見ることができて楽しかった。

Field trip では有名な所からローカルな所までたくさんの場所に行くことができ、とても充実していたように思う。バスの中では話すときは必ず英語というルールがあり、移動中も勉強をしながらであるし毎回プリントを渡されては書いてある項目を埋めるようにと課題が出され案内や説明を聞きながら答えを書いたりなどただ楽しむのではなくちゃんと学びながら見て回った。わからないところも周りの人達から教えてもらいより仲を深めることもできた。聞き取れなくて困ったこともあったが、それ以上に毎回楽しくご飯を食べたり買い物などもしてみんなと回ることで良かった。